
色とりどり

メメントモリ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

色とりどり

【Nコード】

N3696E

【作者名】

メントモリ

【あらすじ】

お付き合い↓1週間！！ソッコー失恋！！アホな主人公は今日も行く！未練をお供に今日も行く！！予定は未定で今日も行く？！ドツキンバクバク？！おふざけが過ぎるありがちハーレム系ストーリー？！「日々の合間をぬつてのチマチマ作りの為、更新にはえらい時間くうみたいデスヨ？！あしからず！！」

金（前書き）

アハッ いらっしやゝいゝお一人い？ちよつと聞いてくれる？！ウ
チのオーナー（作者）男♂なんだけどおゝ妄想がヒドくつて！！そ
んで妄想をなんかに表現してみたくなつたみたいでえゝ！！こんな
ん始めちゃったんだって！！アツハ ウケる！！んでもオーナー素
人だし適当野郎だからあゝ自分の好きなキャラとかシチュとか？書
きたいだけの自己満バリツバリらしいヨおゝ？！！アツハ 迷惑！
！

金

「はあ~~~~あ」

フラれてフラフラ千鳥足、んでもって溜め息万回、グチ満載!!
酒を喰らって飲まれてベロンベロンの高校男子が一人!!!

サカキ
榊 晴

何事にもテキトーがモットー、今のみを愛・感動・刺激を求め生きる。17歳!彼女いない歴2週間目!高2で両親を泣き落とし、実家から数キロのアパートで好き放題フリーダムを満喫生活!!
そんな彼も、青春の甘酸っぱく重い痛手にくじけそうに、いじけそうになっていた!!

ヤケ酒の獲物が切れて、1LDK31000円!賃貸アパート我がホーム!(1が多いな...)を抜け出し、次なる獲物を求め最寄りのコンビニへとゾンビ歩行を進めていた。

晴

「あゝイラつく!!」

をのれ!あのバカ女め!!なあにが

「ハル君!.....ゴメン私.....好きな人ができたの.....」
~~~~その人ともう付き合うことになった!だからあバイバイキーン  
~~~~

っだよ!!.....なんて別れ方、なんて去り方、後半言い終える前に背中向けて猛ダッシュ↓!!そりゃないぜ!バイ。ンマ〜ン!!

……違うか

美人とはチヨイ違うけど小動物系、素朴で可愛いと
コロコロ笑う顔、頭一つ分俺より低い所にあつた、栗毛でサラッ
サラの……よくアホ毛がとんでるボブカット……。ニヤニヤ……

……否！断じて否！！あれから二週間もたった！我わ男ぞっ！！女
々しく未練に飲み込まれるな！！……こんな状態でゆってもね
え………

鬼の形相はたまたエロ面でニタリ……と思いきや世捨て人の哀愁顔。
一人夜道で百面相！！

ドンマイ酒ゾンビ晴！
実はモテフェイス酒ゾンビ晴！
未成年だよ酒ゾンビ晴！
未練がましい酒ゾンビ晴！……
「しつこやかましわ！！」

そんなこんなで目的地。丑三つ時だとゆつのに爛々と光を撒き散
らす！！

デケテテッテテェー！

コ〜ン〜ビ〜ニ〜!!

晴

「フッフッフ…。ようやく…。ようやく辿り着いたぞ!! マイホームから徒歩3分!! 狩場!!」

ブツブツ言いながらも店にIN!! 酒購入の為に仲良くなったギヤル男店員に敬礼、カゴに目的のブツを放りすぐさまレジへ↓!!

所持Gが予想より減った事に軽く凹み、しかし

「あんま飲みすぎちゃいけやせんぜ。」と「ウコンの力」をくれたギヤル男の優しさに感謝の敬礼!!

獲物を得た晴は、ヤケ酒続行のため3分の家路を急いだ。

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

ドカツ

晴

「うわっち!」

?

「キャッ!」

と思いきや店出てスグ人とぶつかったヨ……………

お相手様は…夜中だとゆうのに学生服の女の子………補導されます

よ？…いやいや俺も人の事言えないツスよ？

その子はうつむいていて顔はわからない、真ん中分けの腰までロングのストレートで……真っ金パヘア！。

ギャルさんですか？

ヤンキーですか？

…あれっ？泣いちゃってるとか？

っつかそんなん考えてる場合じゃないわな。

尻餅ついたままだし！

ここわジェントルメン的な爽やかスマイルで優しくお手々を差し出さなければ！！

晴

「あっゴメンね？怪我とかしてない？大丈夫？」キラ

するとその子は、差し出した手をスルー、自力でスクツと立ち上がり顔を上げた。

よかった♪泣かしてなかった！！

あっ…背があいつと同じくらいだ

……あらまあ　パツチリ大きな甘あく切れ長なお目々♪

マツゲもかなり長いのに自己主張ほどにお目々になじんで、お鼻サンはチビっちゃんのに鼻筋はなにげに通ってる♪

唇は薄くもほんのり桜色でツヤってるうっ

化粧の魔力！恐るべし！！

……おんやおやっ？ちょいとお待ちよ。お兄さん？……NO

じゃないのん？ノーメイクってヤツじゃなあ〜い？

ってことわ！あれですな！！天然美つつ少女お〜う！！！！

教授！希少種発見！！

にしても…なんでしょう？この瞳？黒か…？いやグリーンっぽい？  
それに万華鏡でも覗いたようなキラッキラ感&引き込まれるう  
うう〜…き…教授…ボカア  
もお…ポッ♪

以上・晴・脳内・2秒

その後、互いを数秒の見つめ合い。

晴はどないしよう？と固まりその子を見つめていた。

美少女はパツチりお目々を更に見開いて数秒晴を見つめた後、瞬  
かせ

（なんとなく頬が赤らい？気のせいスか？そおスか）  
かわいらしい唇で何事が呟いた。

？

「□……く…れよ……い」

晴

「……あい？」

……

？

「コンノツ！！腐れ酔っ払いがあ↓！！なにぶつかってくてんだっ？！あゝ？！テメーみてえな酔いどれイカレ変態底辺デブリ野郎は！！樹海の奥地に迷い込んで余生を思いながら彷徨えやああゝ！！！」

.....

ええええエエエ？！

ちよつとぶつかっただけだよ！you & amp; me！！

今さっき心の中でめっちゃ絶賛したのに！！

どうしてこんな言われよう？！

why？

ヒドイ！

辛い！

怖い！！

言葉の暴力だよ！！

今でワイのハートは見事に……あべしっ！ひでぶっ！！デスヨ

！！

すると何を思ったか「金髪美少女！なのにヒドイ暴言ヤンキー」

ガールは、ムンズツと晴の裾を掴み、チャキツと回れ右すると

無言でズリズリ引きずりながらコンビ二へ入店↓！！

イヤンツ強引♪

ふざけちよる場合やなかよ！！どうなる俺っ？！

何があつたの？顔のギャル男店員にヨロヨロと再び敬礼。しばし放置！！

呆然としながらつつ立ち、店員ときこちない愛想笑いキャッチボールを数回していると……………

？

「んっ！！」

……………えっ……………なんでスカ？このモツサリ菓子類が入ったカゴは？…

……………

？

「だからっ！！テメエのワビと誠意の証として、これを買えやつ！！プレゼントしろっ！！」

イヤンツ強引♪

いやイヤ！！んなにを言っただあ？！コイツは？！カツアゲかっ？！

……………つと文句はそのうち心の中で沢山言う事にして、今は黙ってレジ行こうつと！！……………だつて怖いもん！！

本日2度目の会計を終えた所で、華麗にレジ袋をかつさりい、満

足にもいじわるな笑顔でニンマリしている「金髪美少女ヤンキー」さん。略して「金女」

財布と共に妙にゲッソリそしてグッタリした晴は店員に何も言うな…とう表情を残しコンビ二を後にした。

.....

店を出るなり棒つきキャンディを口に放り込み、自らのすぐ隣の地面を指差しながら「金女」は

「ココにいろっ」

と言いながらその場にルンルン♪浮かれ顔でしゃがみこんだ。

はあ~~~~もう酔いも完っ壁覚めちつたじゃ〜んか!! ム~~~~  
~~~~!!

ミッション1

この刺激はあれども危険臭のたどよう現状からのエスケープ!!

ミッション2

古ぼけたオアシスパートへ直帰!!

ミッション3

今日1日の愉快で甘美でテンション上がる記憶のみメモリ保存、好ましくないその他は封印もしくは破棄!!

とはいえどう動けば?.....下手に動くのはいただけない気がする.....まずは相手の様子を見よう!!

言われた通り隣に移動し同じようにしゃがんだ晴は、とくに喋る

でもなく、キャンディを嬉しそうに舐め続けている少女の、綺麗に染まった金髪から僅かに見え隠れする笑顔を横目で伺うように見ていた。

プツ……………プリティ…………… 喋れないと本当に可愛いなあ……………♪

プシッ！

グビグビっ！

する事がない晴は無意識にチューハイを手にし自然な流れで、喉に流し込んでいた。

晴

「……………あつ……………」

出会い頭の説教？暴言が脳裏をよぎり、

ヤヴァイ！！そっちの筋の力で本当に樹海を彷徨つかも…………

デンジャーな想像に支配され、血の気が引き、油をさしていないポンコツ機械になったかのようにギギギツと「金女」に顔ごと目を向けた。 ジイイイイ……………

ヤバすっ！！ガン見！！上目遣いなのが可愛い…………… うんにや逆に恐い！！二の舞かつ？！何やらかしてんスカ俺っ？！

「金女」は、しばらくガン見を続け、ふうつと息を吐いたかと思うとスクツと立ち上がる。

突然の事に心底ビクツとしている晴に背を向けトテト歩き始めた。驚いたまま固まっていた晴に、3メートルほど進んだ「美ヤン」は振り返り、顔の高さまでレジ袋を上げ、魅力満点の笑顔を浮かべながら言った。

？

「アタシはジュン！！コレありがとう！！酔っぱらい　！！」

ジュンと名乗ったえらい棘をもった美少女は、クルツと方向をかえると固まりっぱの晴を置いて、どえらい速さで去っていった。

……………行ってしまわれた……………なんかあの去り方デジャヴ感あるわぁ……………カツアゲ初めてあったよ……………

……………でも最後パンツ見えた♪♪メモリ保存完了でアリマス！！

……………
……………
……………

晴

「ただあゝいま！ああオカエリ！！……………さぶっ」

疲れ果てた精神に鞭を打ち、なんとか無理やり明るく帰宅の挨拶を繰り返してみたものの、部屋に着いた安心感から一気に体力とテ

ンションが急降下、もはや酒を呑む気も襲ってきた睡魔と戦う気力もなくベッドに突っ伏し、眼を閉じ重力に身を任せたまま呟いた。

晴

「あの子なんだったんだろ？……うおーい。そいや明日学校だよーい。……無理ツス起きれないツス……てか行きたくないっ行かないっ！！決めたっ！！……てことでパトラッシュ……ボクはもお疲れたよ……」 言い終えるなり枕を抱き込みオヤスミ3秒をかました。

「榊 晴」の連休最終日、予想外のドッキンヒヤヒヤな出来事は、イビキ・ハギシリ・アクロバティックな寝相！！締めくくりは鼻の下を伸ばしきったスケベ面で、何故かキラリン と光る一雫の涙で幕を閉じた。

……時刻……

……「午前4：30」……

金（後書き）

クリーム色くらい染まった金髪……………いやあ~~~~好物

赤（前書き）

ダッハッハ！！ムズいねえ〜キビシいねえ〜コレ頑張ろうと思っ
ても〜思考が他の妄想に取り付かれて占拠されちゃうと戻ってこれ
なくなっちゃう〜 熱心な作者の皆さんオモロ↓なのにバツチシ
定期更新しててスゴい！！憧れちゃうよ集中力とか構成力とかホン
トに！！

素敵

赤

…同日…

…時刻・6:30分…

ングオオ↓!!ギィギギギ!!ドタツシユシユバゴッダンツ

!!…………スピュ~~

およそ就寝中とは思えない寝相で、数十分おきに布団を巻き上げながらのブレイクダンスを舞っていると、(ベッド付近の家具類はまったくの無傷!!)

タタタタツ……ガチャガチャ…カチャリ…………ズバコォー↓
ン!!!

?「ンモオ~~~~ニン朝どあよー!!晴ー!!」

開錠をしたにも関わらず、「玄関の扉」という名の板を、体の要所でドリルスピンをかけ、ゲームならクリティカルヒットな足技で蹴り飛ばす!!無惨な板キレを生産!!そのまま強い足取りで、悠々自適生活の為に晴が勝ち取った(泣き取った?)住居へとその人物はズカズカ押し入ってきた。

今はベッドでおとなしくスピュスピュと寝息をたてている晴を確認すると、キッチンへ向かい慣れた手つきでコーヒー・トースト等の朝食セットを用意し、チヨコンと設置してあるテーブルに乗せると、再び家主である…布団にダンゴムシ丸まりで顔だけヒョッコリだしてムニムニャっている晴を揺すりながら声をかけた。

?

「ねえ晴うゝ？起きてくゝださゝい？」

晴

「……………んゝナアンむにゃん……………嫌あ……………今日はdie day
でい……………ンガゴルウアゝゝ」

？

「あゝゝダメゝゝ！！学校ですよゝ？ゴハン食べてくださいい！顔も
洗ってゝゝ……………それとも……………ア・タ・シ？」

……………バグアアン！！（瞼を開くサウンド）

晴

「いつかあゝゝゝん！！女の子がむやみにそんなコト口にしちゃイ
カアアアン！！！」

？

「ニヒツゝ起きた」

晴

「むっ！真琴か！今何やら女の子にはあるまじきふしだらな言動の
気配が……………？まあいい！我輩は今日はニート宣言じゃ！！でわサラ
バイ」

晴は真琴にそう告げると夢への突入を再度試みるのだった。

真

「……………」

ゴソゴソッモソモン

夢の中へダイブ手前で掛け布団の端が動き進入してきたかぐわしいシャンプースメルで細身の柔い人型物体、晴は寝ぼけ脳で

何ぞ？コレ何ぞ？ああ眠みいのに……とりあえず薄目で物体を確認してみましょ……！！一人でできるもん　！！

……自称「晴専用押しかけ目覚まし嬢」真琴ちゃんですね……こいつは……なにニヤンとネコ口で自然な感じで潜り込んでスリスリしちやるんですかね？！

晴

「チミチミ…離れんさい。なんばしよつと？1人暮らしの男の、しかも布団に入ってなんばしよつと？！男がどんな生き物がピンクレディーに聞いてきなさい？」

目をパチクリしながら、しばらく考えた真琴はおもむろに着ている制服の首もとにある真っ赤なりボンタイをずらし、シャツのボタンを3つほど外しながら

真

「狼サ〜ンめしあがれ」

……カアアアア……（沸）

晴

「ぶっ…ぶっ……ぶわあつかも……ん！！嫁入り前の娘がつがつ……バカモ……ン……！！」

この後、ブチキレ晴によるお説教20分……
ちゅー事でその間に真琴紹介いっく
ピピピ〜ドンドンドンパファフ〜く

サエキマコト
佐伯真琴実家はお隣・晴の幼馴染

―学校では風紀委員長！（生徒会と共に校則違反者や不屈きな輩を教員であつても肅正！！）

―演劇部所属・委員会に入ってからにはそちらに専念、真琴個人の偏りイメージで風紀委員を演じるも、のめり込み過ぎて二重人格化・晴には甘く、天然ポヤアンで微工口な素「晴モード」・普段の2人きり意外が厳格な真面目オーラと威厳を携えし紅き鋼鉄のジャステイス！！「女帝モード」

―身長パツと見は晴とドツコイ2・数字的にはちよい低

―桜木。道クラスの赤毛で前髪はでこつパチ丸見えな短さ両端のみ顎まで長い・他はサラツとシヨート！

―「晴モード」プリティーキャット。肌はほどよいの色で大きく黒い瞳ややタレ目で小鼻・プツクリなやや厚ネコ口

―「女帝モード」クールビューティー！！眉間に縦線が入り、ややツリ目に鋭い眼光で全てを見下し気味になる

―サイズ・Bパヤツと・W細っこい・H桃尻

……紹介楽しくなってきましたが、説教タイムが終わったようなのでスタジオにお返ししまあ〜す

……
……

晴

「~~~~！！……ゼエゼエ……フウ〜このくらいで勘弁してやろう
！！……ところで真琴お？何度も言ってっけど、学校は反対側なんだか

らわざわざ起こしに来なくていいって!!」

聞いていたのかいないのか正座でにんまりスマイルを浮かべていた真琴が、一転!!フルフルして「これから孤独にお留守番チワワ」な表情で訴えてきた。

真

「どうしてえ?!いつも一緒に学校行ったりお家行き来してたのに!!」

突然1人暮らしはするわ!ココに来るなって言っわ!!……真琴の事…避けてるの?嫌いになったの?!

晴

「?!いやっ!まで!泣くなっ!!全然嫌いとかそゆのじゃないから!!なっ?ほらっ飯食って学校行くこうなっ?!!」

サメザメと泣くように俯いた真琴を、アワアワと取り乱しながらあやすと

真

「……ほん…ちょに?」

んぐふうっ!!涙目で上目遣いなんてドコで覚えたんだあ?!ま…真琴のくせに!!不覚にも軽くドキッとハートが不具合を起こしたじゃに…の!!

ってまずは機嫌をとりますか!!コイツは昔っからこの方法でイチコロよんっ♪

はあ~~~~いナデナデ~~~~

真

「……♪晴う」

ブルー↓ご機嫌になった真琴は、抱き付きあわよくばチューをせんと両手を広げ眼を閉じ頬を赤らめながら唇を突き出しタツクルで仕掛ける体勢に入った！！

晴は長年の経験による勘に従い、ナデナデで頭に置いたままの手に圧を込めムンズツと掴むと、そのまま後方のベッドへペイッつと真琴を放り投げた。

真

「ああ~~~~フニ、ヤブ！！………チツ！！」

晴

「H a h a h a~~~~ 真琴サン？戯れはこんくらいにして学校行きマスワヨ~~~~？そして舌打ちなんてしちゃいけません！！」

サクツと真琴をかわし、キッチンで洗顔歯磨きを終え、着替えの為ババツと寝間着を脱いでいると、縮こまって背を向けて俯いている真琴が目に入った。

今度は何が起きたのかと顔を覗き込むと、目を伏せ耳元を真っ赤にしていた。

晴

「オイ！どした？」

真

「……別に。早く着替えて。」

晴は今、ボクパンにハーパンを履いたのみの上半身裸の状態。真

琴の反応にいまいちピンとこない晴は頭を傾け腕を組みしばし状況分析、ポクチンポクチンポクチン………シャキーン
――ふと考えつきボクサーパンツ一丁になると仁王立ちで声をかけた。

晴

「艦長！出航の準備。完了いたしました！！」

真

「ねえ晴う………つブギャツ！イヤア！！なんてカツコしてんのよ！！バカッ！！変態！！早く服着れよ！！」

ムツゝ馬鹿呼ばわりスカ………オノレ。自分はすうゝぐ肌晒すくせしてオレの成長した美しき肢体に照れまくりとは………そうかつ！
！オレのバディーがあまりに美し過ぎて直視できんだなっ？！クツクツクゝ憂い奴よのゝ」

勝手な解釈で気を良くし、満足ニタリ面を貼り付けながら制服を着込みネクタイを結んでいると視界に転がるドアノブ状のモノが飛び込んできた。

晴

「つーかまんまドアノブじゃあん！！なあに？ドコのお？！なあ真琴！コレ何処のか知ってるかあ？！」

真

「い……いやあゝゝワカンナイデスネ？ハイ！！」

晴

「………おまいさん？またやらかし（蹴破つ）たんかい？」

真

「………デヘッ」

晴

「カアア——↓！！！！！！」

「まったく……なあにがテヘツ　じゃ！またやりやがって！！……しかし……ノブと破片はあるものの……ドアに異常が見当たらない……！！！！……彼が来てくれたのか！！」「管理人」またの名を「アパートの妖精」サン！！姿も気配もなく仕事をこなし去ってゆく……パネエよ！！……つてか真面目に姿見たトキねえ……から！！……仕事人だネ……俺の知らない所で壊れた家の修復そして後日送ってくる請求書……仕事人だネ……！！！！！！！！！！クソがあ！！！！

真

「ねねっ！！そろそろ行こおよ！！」

晴

「ヘイヘイホオ……と。そいや風紀委員長殿？おめアレはあ？朝校門とかでやってるアレよ！？」

真

「その呼び方ヤメテってば！！ああ……朝挨拶と遅刻点検？配下者に任した。」

配下で……ドンダケ……まっ関係ねえや！！いちいちツツコミたくねえ！！ボカアむしろボケ思考だかね！！オイシいし！！

おっと！！真琴がもお玄関開けて待つてらあ……。

WAO　朝日の後光に照らされ赤毛が紅色に染まって、髪が生き物

のように髪にそよ柔らかい微笑みをたたえている……コイツとは長い間一緒にいつけど……何時見ても目が覚める光景だネ……さしずめ「燃ゆる女神」……いんや！言いすぎ！！こんな「鬼火or狐火」辺りでいんちゃう？

やっぱ成長してんだな真琴も、ボディーラインは……まだまだペーペーだけど！！なんちゅーか造りが「女の子」↓「女」になってきたなあ………そんなだけ。感想をば。

真

「何時までそうしているつもりだ！？私を待たせるな！！ゆくぞ！！」

ポケラア……と思考を巡らせていると、厳しい顔つきと口調の「女帝」へとモードチェンジをはたした真琴が、腰に手を置き仁王立ちでイライラしてらっしゃった。

晴

「へえへえ……只今参りますよ……い。」

決め込んだズル休みをあつさり打ち壊され、颯爽と風を切って歩む真琴の後を憂鬱な足取りでノタクタと登校するのだった。フヌウウ……眠っ……！朝からワチャワチャしすぎ……考えてみりや2時間くらいっきや寝てなくナクNAKUない？！ネムイって……！しかもウスウ……く二日酔いくらってるし……！はああ……あダメだなあ、フラれてヤケ酒だったりあげく二日酔いだったりラジバンダリ……！しくった使い方しくった………もおええ……！学校で寝たる……！しこたま寝たる……！がぜん寝たる……！

眼球に朝日の閃光弾をもろに受け、寝不足で弱りきっている眼の
強力ペインに悶絶しながら、睡眠なるオアシスを目指し挫けまいと
衰えながらも力強い1歩を踏み出す晴であつた~~~~!!

赤（後書き）

スレンダーな女性………魅力的やわ………なんだろうね？！ライン美
？！たまらん！！えらいたまりまへん

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3696e/>

色とりどり

2010年10月16日00時44分発行